

市川市文学ミュージアム企画展

詩人・宗左近展

—わたしの罪と罰—

「献辞」

母よ

あなたにこの一巻を

これは

あなたが炎となって

二十二年の

炎えやすい紙でつくった

あなたの墓です

そして

わたしの墓です

生きながら

葬るための

墓です

炎えやまない

あなたとわたしを

もろともに

母よ

(宗左近 長篇詩『炎える母』より)

2016. 4.23_{sat} — 6.26_{sun}

開館時間 10:00~19:30 (土日祝日は18:00まで) ※入室は閉館時間の30分前まで

休館日 月曜日、4月28日、5月31日

観覧料 一般300円(240円)、65歳以上240円、高大生150円(120円)、中学生以下無料

※()は25名以上の団体料金

※障害者手帳をお持ちの方と付添の方1名無料

※6月15日(県民の日)は無料観覧日となります

主催：市川市 協力：北九州市立文学館 宗左近詩碑建立の会



市川市文学ミュージアム
Ichikawa City Museum of Literature

一昭和20年5月25日の東京中心部大空襲による火の海のなかに、母とともに取り残された。

だが、そこから走り出てきたのは、わたし1人であった。一

(宗左近『私の死生観』より)

詩作のみならず、美術評論、翻訳、幅広い分野で活躍した詩人、^{そうさこん}宗左近。福岡県戸畑町（現・北九州市戸畑区）で生まれ、昭和53年から亡くなるまで市川市で暮らした宗は、東京大空襲で母を死なせた過去を描いた詩集『炎える母』をはじめとし、数多くの作品をこの世に遺しました。

詩人の抱えた「大切な人たちを見殺しにした」罪と罰の意識。彼を創作に駆り立てたものとは何だったのか。本展では市川ゆかりの資料と共に、詩人の作品世界に迫ります。

宗が暮らしたこの地で、言葉の持つ力に触れて下さい。

プロフィール

てらいち

本名、古賀照一。大正8年福岡県出身。東京帝国大学哲学科卒。旧制第一高等学校時代より文章を書き始め、昭和34年第1詩集『黒眼鏡』を刊行。第3詩集『炎える母』にて藤村記念歴程賞を受賞。市川市で暮らし、平成18年に息を引き取るまで、終の棲家とした。

市川市名誉市民。



関連イベント

1. 合唱コンサート (要申込)

※宗左近が作詞を手がけた曲を中心にお送りいたします。

2016年5月15日(日) 14:00~

出演：木村珠美氏(オペラ歌手)、ケルルルン(混声合唱団)、市川小学校児童

曲目：市川讃歌「透明の蕊の蕊」、市川小学校子ども讃歌「永遠 無限」ほか

会場：市川市生涯学習センター2階 グリーンスタジオ

定員：220名 申込締切：5月6日(金) 必着

2. 講演会「宗左近の詩」(要申込)

2016年6月12日(日) 14:00~

講師：高橋順子氏(詩人)

会場：市川市生涯学習センター3階 第2研修室

定員：70名 申込締切：5月27日(金) 必着

3. 座談会「宗左近を語る」(要申込)

2016年5月21日(土) 14:00~

トーク：能村研三氏(俳人)ほか

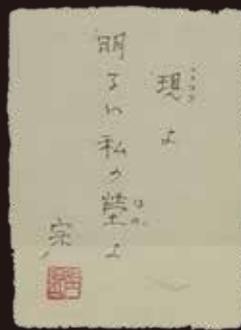
会場：市川市生涯学習センター3階 第2研修室

定員：70名 申込締切：5月7日(土) 必着

4. ギャラリートーク (申込不要)

2016年5月8日(日)、6月19日(日) 14:00~

会場：市川市生涯学習センター2階 企画展示室



一行詩「現よ明るい私の瑩よ」



インコを飼っていた鳥籠



愛用の下駄



市川讃歌『透明の蕊の蕊』直筆原稿

没後10年 宗左近詩碑除幕式

終の棲家となった市川の地に、宗左近の詩碑を建てたいという思いから、有志による詩碑建立の会が発足し、建立に向けて準備を進めて参りました。皆様方からのご支援、ご協力をいただき、このたび中村ミナト氏による詩碑が制作され、下記のとおり除幕式が行われます。詩碑には「市川讃歌」の一節が刻印されます。ぜひご参加ください。

2016年6月5日(日) 11時~

場所：里見公園(市川市国府台3-9)



【JR総武線】本八幡駅・下総中山駅より徒歩15分

【都営新宿線】本八幡駅より徒歩20分

【京成線】鬼越駅より徒歩10分

【車】京葉道路 市川インターから5分

※駐車場はありますが、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。



市川市文学ミュージアム

Ichikawa City Museum of Literature

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4 生涯学習センター(中央図書館)2階

TEL: 047-320-3334 FAX: 047-320-3356

http://www.city/ichikawa.ljgp/litera/